

平成25年度第1回川崎区区民会議（全体会議）摘録

日 時：平成25年5月29日（水）午後6時30分

場 所：川崎区役所7階会議室

出席者（敬称略）

委員 18名

藍原 晃、赤間靖夫、新井一成、新井トキ子、石渡勝朗、岩瀬絹代、
木島千栄、小泉忠之、知念ジョアンナ、寺尾宇一、富田順人、戸村正房、
秦琢二、原千代子、藤岡玲子、森脇卓郎、吉野智佐雄、米山 実
(欠席2名 鈴木真、深澤香織)

参与 2人

為谷義隆、西村くにご

傍聴 2人

(進行：北沢副区長)

1 開会

- 委員の出欠と会議の成立の確認
- 会議の公開、会議録の開示、会議の記録、広報としての写真撮影等の説明
- 配付資料の確認

2 区長あいさつ

ア. 区長あいさつ

- 出席へのお礼と活発な討議へのお願ひ。
- 「より多くの区民の声を取り入れるべき」というご意見を受け、6月1日号の「市政だより」で区民会議の提案にご意見を区民の方からいただけるよう紹介記事を掲載した。

イ. 事務局紹介

- 平成25年4月1日付けで着任した新任者も含め、会議に参加した事務局及び、行政関係者全職員から簡単な自己紹介があった。

(進行：寺尾委員長)

3 新委員の紹介

新任委員の自己紹介

- ・森脇卓郎委員…川崎区老人クラブ連合会事務局次長。
- ・知念ジョアンナ委員…外国人市民代表者会議やP T Aなどの活動に参加していたが、しばらく離れていた。

4 議題

(1) 報告事項

ア 今後の審議スケジュールについて（資料1）

資料1に基づき、今後の審議スケジュール案が事務局から示され、承認された。

■ 質疑

戸村委員 区民会議フォーラムの会場はどこを想定しているのか？

事務局（企画課長） 教育文化会館6階の大会議室を予定、仮予約している。

(2) 専門部会の進捗状況報告について

ア みんなのまちづくり部会進捗状況報告

みんなのまちづくり部会藍原部会長から、専門部会の進捗状況について

資料2に基づき報告があり、意見交換した。

■ コミュニティバス導入の促進（福祉と観光の向上）について

戸村委員 コミュニティバスの検討は非常に難しいということで、運行ルート

のたたき台案を部会で提示させていただいた。関係者の声を伺って、観光や福

祉に役立つルートができれば良い。

寺尾委員長 民間事業者にやっていただくなら、利益が出るが必要になる。

既存路線のルート変更で検討されているという方向性は良いと思う。

岩瀬委員 大師地区から小田地区への直通路線があると区内で横のつながりが

できるだろう。現状では一度駅に出なければならない。

豊本区長 コミュニティバスは川崎市内では北部で運行例があるが、行政から

の支援は車両購入費補助など立上げ時の支援に留まっている現状がある。

多くの利用者が確実に見込めたり、地元企業の協力が得られるルートであ

れば、実現可能性が高まるのではないか。

川崎区内では川崎駅を起点とした縦（放射線状）のバスルートが充実して

いる。最近新たな企業の進出のあった東扇島地区への運行本数を増やす

取組も行われた。区内を横に結ぶルートの必要性については、行政も認識し

ている。医療施設や公共施設、商業施設や今年開設予定の東海道かわさき

しゅくこうりゅうかんとめぐるようなルートを一っしょにけんとうしていきたい。
事務局（企画課長） コミュニティバスは住民による運営が中心となり、そこ
に至るには様々な課題をクリアしなければならない。そこで部会として、既存
ルートの変更に基づくルート案を検討し、行政の関係部局や民間事業者に
申し入れを行うことを今年度の目標として定めたところである。

イ すこやか・共に生きる部会進捗状況報告

すこやか・共に生きる部会石渡部会長から、専門部会の進捗状況について
資料3・資料4に基づいて報告があり、意見交換した。

■地域における健康の推進 について

赤間委員 予防接種をしない理由として、値段が高いということがあるのではな
いか。

事務局（保健福祉センター所長） 例えば最近流行している風疹は胎児への
影響などが深刻な問題となっている。市ではこの予防接種を、2,000円を上限
に実施する委託契約を医師会と締結しており、周辺自治体よりも安く提供し
ている。対象も年齢幅等を広くし、広報にも力を入れているが、受診率があ
まり上がってきていない実情がある。

原委員 区内の小学校には外国人を親に持つ児童も多い。アンケート調査票を
外国語対応にしてはどうか。

石渡部会長 外国人だから受診率が低いということはない認識であり、今のとこ
ろは考えていないというのが部会の討議結果である。

豊本区長 予防接種については、市でも一定程度の助成をしながら取り組んでいく
考えである。アンケートの結果をどのように分析して活用していくか、より
具体的に検討を進めていただければ幸いである。

吉野委員 受診率が低いのは、病気に対する知識や恐怖感が足りないからではな
いか。私が小さい頃はついこの間まで元気に遊んでいた子どもがジフテリア
にかかって、数日で死んでしまったケースなどを目の当たりにしており、
子ども心にも病気への恐怖感があった。今の大人は知識もなく、何となく「し
ておけば安心」くらいにしか捉えられていない気がする。病気の恐さや予防
接種の大切さをアピールする広報にもっと力をいれてはどうか。

事務局（保健福祉センター所長） 区としても検診の際に予防接種の重要性を
伝えるなど努力をしている。

森脇委員 アンケート調査票の案（資料4）で設問の4～8は択一式になって
いるが、複数回答できるようにした方が、傾向がよくつかめるのではないか。

石渡部会長 ぜひ専門部会で検討していきたい。

小泉委員 私も複数回答にした方が良く思う。

米山委員 予防接種による副作用などが報道されると、実際よりも過大に捉えられてしまう傾向がある。どのくらいの確率でどういうことが起きるのか、データを示すことも重要だ。

藤岡委員 予防接種の未接種者に、今後の接種意向について、ぜひ受けてたい・都合があえば受けてたい・受けないなどの選択肢で伺ってみてはどうか。

寺尾委員長 私も経験があるが、大人になってからかかると帯状疱疹なども非常につらく、大変である。

■子どもを地域で支える、子どもの生きる力 について

原委員 川崎区は市内でも生活が困難な子どもたちの問題が顕著な区だと思ふ。

昨年10月から生活保護家庭の中学生の学習支援事業が始まっている。学校と地域の福祉事業者が関わっているが、子ども関係の団体の連携の場を作るときに、こうした課題についても取組んでいけたら良い。

豊本区長 生活保護家庭の中学3年生の学習支援事業は、国からの補助金を受けながらモデル事業として取組んでいる。定時制や通信制では途中で辞めてしまうケースが多いということで、全日制への進学率アップを目指している。

また不登校児の問題についても、親子で指導していく取組などを進めている。

寺尾委員長 近所で毎日井戸端会議をしている主婦たちと一緒に遊ぶ子どもたちの姿を見かける。最近は少なくなった風景で非常に良いと思う。しかし現役の男性はなかなかPTAなどの活動にも参加できない実情がある。

■外国人市民も住みやすいまちづくり について

豊本区長 川崎区では、外国人を対象とした避難訓練を今年度初めて行う予定となっている。麻生区役所の窓口と同時に通訳の機械を導入したところ、一定の効果があつたようで、川崎区でも導入を検討していきたいと考えている。

(3) その他

ア 海拔表示の表示板について

イ 帰宅困難者用一時滞在施設マップについて

ウ 「川崎臨海部コンビナートの安全対策」の作成・配布について

事務局から、海拔表示板のサンプル、参考資料1・2に基づき紹介があつた。

■質疑

とむらいいん ちょうないかいけいじばん せっち くない なんまい そうてい
戸村委員 町内会掲示板への設置ということだが、区内で何枚くらいを想定し
ているのか

じむきょく きき かんりたんとうかちょう くない ちょうないかいけいじばん きょう
事務局（危機管理担当課長） 区内には町内会掲示板が 900 強あり。それを
たいしょう すず
対象に進めていく。

よしのいいん きたくこんなんしやよう いちじたいざいしせつ しゅうようかのうがいう
吉野委員 帰宅困難者用の一時滞在施設の収容可能概数はどのくらいか？

じむきょく きき かんりたんとうかちょう かわさきしない えきしゅうへん しせつ ごうけいやく にん
事務局（危機管理担当課長） 川崎市内 6 駅周辺の 21 施設で、合計約 12,400 人
ということだ。

エ 平成25年度地域課題対応事業について

じむきょく さんこうしりょう もと とく くみんかいぎ とうぎないう かか じぎょう
事務局から参考資料 3 に基づき、特に区民会議の討議内容と関わる事業につい
て紹介があった。質疑や意見は特に無し。

オ 平成25年度いきいきかわさき区提案事業について

じむきょく さんこうしりょう もと いちじぼしゅう けっかとう しょうかい
事務局から参考資料 4 に基づき、一次募集の結果等について紹介があった。
しつぎ いけん とく な
質疑や意見は特に無し。

■閉会前の参与コメント

にしむらさんよ よぼうせつしゅ けんぎかい しゅうちゅうてき しつもん
西村参与 予防接種については、県議会でも集中的に質問させていただいてき
た。ふうしんについては さくねん がつごろ しゅとけん れいねん ばい かながわけん
た。風疹については昨年10月頃から首都圏で例年の 30~40 倍、神奈川県で 100
ばい かんせんりつ にんしんしよき じよせい かんせん かくりつ
倍の感染率となっている。妊娠初期の女性が感染してしまうとかなりの確率で
たいじ えいきょう じんこく もんだい がいとうえんぜつ かんしん すこ も
胎児への影響があり、深刻な問題だ。街頭演説でも関心を少しでも持ってい
ただきたいとかわさきしでは 2,000 円で受けられますよと必ず宣伝させていただ
かきさき えん う かなら せんでん
いている。「うちの息子がそうなんです」と励ましていただいたこともあった。
いろいろのところこあつづ じゅうよう
所で声を上げ続けていただくことが重要だ。

かわさき なぎが とりく けんちじ ふうしんひじょうじたいせんげん
川崎で先駆けて取組んでいただき、県知事からの風疹非常事態宣言、
けんないぜんじちたい よぼうせつしゅしえん じっし
県内全自治体での予防接種支援が実施されるようになったのもこうした
みな こえ とど けつか おも
皆さんの声が届いた結果だと思う。

ためやさんよ ねっしん とうぎ わたし さくねん ひさ
為谷参与 熱心な討議をありがとうございます。私も昨年久しぶりに
いんふるえんざ かんせん よぼうせつしゅ じゅうよう つうかん けいはつかつどう
インフルエンザに感染し、予防接種の重要性を痛感したところで、啓発活動が
ひじょう じゅうよう おも こんねんど くみんかいぎ ぎろん みの おお
非常に重要だと思う。今年度の区民会議の議論をぜひ実り多きものにしてい
ただきたい。

■区長閉会あいさつ

とよもとくちやう ふうしん おそ しんぶんほうどう とお し してき よう かんせん
豊本区長 風疹の恐ろしさを新聞報道を通して知ったが、ご指摘の様に感染の

おそ 恐ろしさ、よぼうせつしゅ 予防接種のたいせつ 大切さがなかなかじっかん 実感されていないめん 面があると思う。
くみん 区民のみなさま 皆様のなま 生のこえ 声を聞きながら、じょうほうていきょう 情報提供のきょうかとう 強化等をしていけば、
じゅしんりつ 受診率をあげることもできるとかんが 考えている。
ほんじつ 本日はねっしん 熱心なとうぎ 討議をありがとうございました。

ごご 午後8時10分ふんかい 閉会

いじょう
(以上)